

令和5年度 事業計画

社会福祉法人 恵愛園



1.基本方針

『大切な人を預けたい、そう想える場所を創造します』

自身の大切な人を自信をもって任せられる施設を

全スタッフ一丸となって創っています。



2.法人理念と誓い

恵愛園の誓い

- 一.利用者様の立場を尊重し、満足されるケアに努めます。
- 一.いつも明るく笑顔をもって、利用者様に接します。
- 一.人との出会いを大切にし、共に歩めることに感謝します。

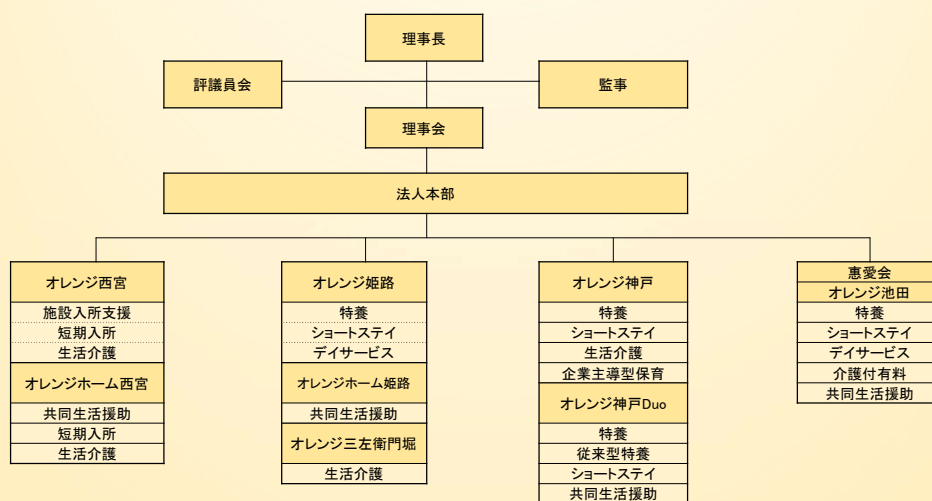
法人理念

『大切な人を預けたい、 そう想える場所を創造する』



3

3.組織図



4

4.年度計画

(1) 法人本部

① オレンジ神戸Duoの安定的な稼働を目指します。

令和5年4月開設のオレンジ神戸Duoの立ち上げ、早期の満床、安定的な稼働を目指します。

② 中期経営計画の実現を目指します。

中期経営計画の3年目として、以下を実現します。

- ・ 拠点間で業務プロセスとマニュアルの統一を行います。
- ・ 階層別研修体制を立ち上げます。
- ・ 外国人スタッフ向けの研修体制、マニュアルを構築します。
- ・ 人事評価が給与に反映されるよう、制度を見直します。



5

③ みらいの福祉施設建築プロジェクトをはじめ、新規事業を展開します。

日本財団の「みらいの福祉施設建築プロジェクト」への応募をはじめ、共同生活援助などの第2種社会福祉事業の展開を計画しています。

④ 継続してICT、ロボティクス等を積極的に取り入れ、業務効率化を図ります。

全施設でスマートフォン、骨伝導スピーカーを活用したインカムシステムの導入を予定しています。また、すでに導入しているタブレット介護記録システムの活用促進、バイタル計測機器の連動を促進し、介護現場の業務効率化をサポートします。また、RPA（WinActor）を活用し、労務申請をはじめとする定型業務の自動化を行います。



6

⑤ **海外からの技能実習生の受け入れを継続して行います。**

関連法人の社会福祉法人恵愛会を組合員として、令和5年3月に事業協同組合を設立しました。
人材不足への対策として、海外人材の獲得を更に推進します。

⑥ **アフターコロナ体制を模索します。**

令和4年度も新型コロナウイルス感染症が各施設で発生し、対応に苦慮した1年間となりました。
令和5年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行に際し、通常通りの居室での面会の実施、外出レクの再開などを
徐々に再開し、感染症対策には留意しつつも、ご利用者のQOLの向上を図ります。



7

(2) 西宮拠点

① **虐待防止、人権擁護の施策を重点的に実施します。**

令和3年度に立案した虐待防止に関する改善計画に沿って、(a)研修、会議体制を見直し、虐待防止、
権利擁護についての意識の醸成、(b)不適切ケアを黙認・容認しない風土の醸成、(c)外部研修を活用した
職員の支援技術アップ、(d)法人内の施設間の交流による問題の共有、解決を促進し、虐待防止、
人権擁護に継続して取り組みます。

② **介護人材の高年齢化への対応のため、若手人材、外国人材の採用に注力します。**

若手人材の採用のため、職場環境、雰囲気、勤務体制、研修体制の見直しを引き続き行います。
また、技能実習生や特定技能を活用し、職員不足を解消します。



8

③ **新しいコンセプトの事業所を新規併設します。**

日本財団の「みらいの福祉施設建築プロジェクト」を活用し、建築デザイン面でもコンセプト面でも地域に開かれた、新規事業を展開します。

④ **オレンジ西宮の修繕を実施します。**

オレンジ西宮は開設後16年目を迎えており、大規模な修繕が必要となってきています。この修繕の機会に、施設全体を開放的で明るい雰囲気を感じられる内装へと変更します。



(3) 姫路拠点

① **職員のスキルアップ（介護技術）の向上を目指します。**

毎月の内部研修を継続して実施し、職員のスキルアップを図ります。特に、介護技術の向上を重点的に行う予定です。

公的機関が行う介護技術研修の他、学研メディカルサポートによるe-ラーニング「学研介護サポート」を活用し、職員に学びの機会を提供していきます。また、法人の資格取得助成制度を活用し、実務者研修、介護福祉士といった職員の資格取得を応援します。

② **笑顔の溢れる職場環境を目指します。**

笑顔の溢れる、働きやすい職場としていくために、施設長、管理者が率先して職員への挨拶、声掛けを行っていきます。風通しの良い働きやすい職場環境とすることで、職員の定着、離職率の低下を図ります。



③ 通所型サービスの稼働率向上を目指します。

高齢者デイサービス、障がい者デイサービスともに稼働率80%の達成を目指します。チラシ配布やDMの活用、ブログ、SNSの定期更新により、事業所の魅力の発信を強化します。障害者デイサービスでは、姫路市役所1階ロビーでの定期的な販売会の実施など、生産活動成果物のアウトプットの強化にも取り組んでいます。

④ 感染症対策に注力しつつも、イベント、レクリエーションを積極的に実施します。

令和4年度は3回のクラスターが発生し、感染症対策に対する課題が浮き彫りとなりました。この教訓を生かしつつ、ユニットビングの換気扇設置工事などのハード面での感染症対策を行いつつ、居室での面会再開（令和5年3月より段階的に実施中）、通常通りのイベント、レクリエーションの実施を行なっています。



⑤ 職員の福利厚生を強化します。

しっかりとリラックスできる休憩スペースの確保、職員用図書の設定など、職員の福利厚生を強化します。令和4年度は、新型コロナに対するかかりまし経費補助金を活用し、商品券の配布やウォーターサーバーの設置を行いました。



(4) 神戸拠点

① 職員の介護技術向上に努めます。

内部研修の確実な実施、外部研修の積極的な活用、マニュアルの整備を通して、職員の介護技術の向上を図ります。
また、法人の資格取得助成制度を活用し、介護福祉士の資格保有者を確保します。

② 第三者評価を受審します。

平成31年4月の開設から3年を経過し、事業所の稼働や職員の入退職状況も安定してきました。令和5年度は
第三者評価を受審し、現状を知るとともにサービスの質向上を図っていきます。



13

③ インカムの導入、タブレット記録システムの浸透による業務効率化を図ります。

すでに導入しているスマートフォンを活用し、骨伝導スピーカーとLINEWorksを使ったインカムシステムの
導入を予定しています。また、タブレットによる音声入力システム、多言語表示システムの業務利用を
推進していきます。

④ オレンジキッズ神戸の利用者確保に努めます。

令和4年4月に地域枠を設けた企業主導型保育事業所オレンジキッズ神戸ですが、令和5年度も引き続き、
利用者の確保を行います。また、オレンジ神戸Duoの職員も利用しやすいよう、周知をしっかりと行っていきます。



14

⑤ オレンジ神戸Duoとの連携を図ります。

新規開設のオレンジ神戸Duo、オレンジホーム神戸の立ち上げをサポートしつつも、ベッドコントロールや人員配置で連携を図っていきます。

⑥ 感染症対策に注力しつつも、イベント、レクリエーションを積極的に実施します。

令和5年度も前年度に引き続き、徹底した感染症対策の実施を行いつつも、居室での面会再開、通常通りのイベント、レクリエーションを実施し、ご利用者のQOLの向上に努めます。。



15

(4) Duo拠点

- ① 2023年夏頃までに、特養、共同生活援助満床、ショートステイ稼働率80%を目指します。
- ② 事故防止に努め、安定的な運営を目指します。
- ③ 見守りセンサーを活用し、科学的介護を実践します。
- ④ 見守りセンサー、IT機器を活用し、記録業務の効率化を行います。
- ⑤ 虐待防止、身体拘束廃止を重点的に行います。
- ⑥ 多角的な採用戦略を採り、人材不足を防止します。
- ⑦ 職員のメンタルケアに努め、人材の定着を図ります。



16

5.理事会、評議員会の開催予定

| | | |
|----|--------------|-------------------------------------------------------|
| 6月 | 理事会、 評議員会 | 定時理事会、定時評議員会 ・決算報告、事業報告 ・社会福祉充実残額 ・業務執行状況の報告 |
| 3月 | 理事会 評議員会 | ・令和5年度補正予算 ・令和6年度予算 ・業務執行状況の報告 |

